



射水市名誉市民

かたぐち やす た ろ う
片口 安太郎

Kataguchi Yasutaro

生年月日～没年月日

明治5年10月26日 生
～ 昭和42年1月12日 没

決定年月日

昭和34年11月9日議決

主な経歴

小杉町長
富山県議会議員

功績

片口安太郎は、射水郡戸破村(現射水市)に生まれた政治家・実業家・漢詩人です。

小杉町長、富山県議会議員などを務め、常に先見性をもって地域の発展に尽くしました。昭和2年の射水農業公民学校(※)の甲種昇格に当たっては、多額の私財を投じてその実現を果たしました。また、昭和15年には小杉図書館の設立を提唱し、自らの蔵書2600冊余を寄贈して創立に尽力するなど、教育の振興にも多大な貢献をしました。

家業である味噌、醤油醸造業に励むとともに、明治33年小杉貯金銀行を創立して長く頭取を務め、工場誘致や上下水道建設、下条川沿岸改修事業などに尽力し、地域の産業経済の発展にも大きな功績を残しました。

漢詩人としての安太郎は、明治20年、15歳のとき、当時小杉に滞在していた木蘇岐山(※)が創立した漢詩結社「月三吟社」に加わり、江東と号して漢詩の創作に励みました。生涯を通じての詩作は2万編にも及び、『江東詩集』『江東百絶』『日本百人一首』などの漢詩集を著しました。

昭和35年10月、安太郎の米寿を記念し、同志によって生家に近い下条川のほとりに胸像が建立されました。安太郎は今も優しいまなざしで射水市の発展を見守り続けています。

※ 射水農業公民学校

射水郡長南原繁の提唱で設置された郡立の中等学校。当初は小学校6年を終えて入学資格が生じる乙種であったが、後に県立に移管され、入学資格を高等小学校卒業程度とする甲種に昇格した。現在の富山県立小杉高等学校の前身。

※ 木蘇岐山(1857～1918)

漢詩人。美濃国(現岐阜県)に生まれる。明治25年から明治39年まで小杉・金沢・高岡に来寓し、月三吟社(小杉)・湖海吟社(富山)を創立、加越の漢詩壇を指導して多くの漢詩人を育てた。

※ 関連施設

片口安太郎翁寿像 射水市戸破下条川鷹寺橋南東に建つ。